

ウラ面からの続き



令和元年12月5日 議事録抜粋  
令和元年第2回定例会  
本会議で  
一般質問を行いました

### 5. 中学校給食のあり方について

■質問:吉田健吾  
中学校給食は、毎年10億円以上の税金が投入されているにもかかわらず、**利用率30%台と極めて低い状況**となっています。私も平成27年の文教子ども委員会や平成28年2月議会の予算代表質疑において、『一旦立ちどまり、しっかりとゼロベースで議論し直すべきではないか』と再三質疑をしてまいりました。しかし、心配していたとおりの展開になっています。全員喫食が有名無実化し、本市の中学校給食は実質的に選択制になってしまっている。**給食はあくまで教育の一環と考えるのであれば、原点に立ち返り、真の全員喫食への切りかえを検討すべき**と考えます。

■答弁:長田教育長  
今年度行いましたアンケート調査におきまして、家庭弁当を持参させたいと思われるのは保護者全体の約3%で、保護者のニーズも変わってきていると感じています。今後、**温かい給食の提供につきまして、さらに一層の工夫を図っていく必要がある**と考えています。保温食缶や保温カーブの活用など、モデル実施について検討したい。

■質問:吉田健吾  
全員喫食については、財政的な負担や学校生活への影響など、さまざまな課題もあると思いますが、民間事業者を活用した方法を取り入れるなど、どう課題をクリアしていくのか、考えをお聞かせいただきたい。

■答弁:長田教育長  
安全・安心かつ安定的な給食の提供が行えるように、**民間**

活力の活用ということも念頭に置きながら、中学校給食のさらなる魅力化の検討を進めたい。

■要望:吉田健吾  
**質の向上というのは絶対に欠かせないキーワード**になってくると思います。よりよい給食がどのように提供できるのか、再度じっくりと検討していただきたい。

### 6. 教育現場のICT化について

■質問:吉田健吾  
全校の普通教室に電子黒板等のICT環境の整備が順次進められている中、国は小・中学校に遅くとも令和6年度までに1人1台のパソコンを無償配備する方針を固めたという報道もありました。全ての教員が授業の中で効果的にICT機器を活用し、教育の質を向上させるためには、**授業をサポートするツールについてもあわせて導入しなければならない**と考えております。御見解をお伺いいたします。

■答弁:長田教育長  
現在、ICT活用の重点推進校など小・中5校で試行的に全てのデジタル教材を導入いたしておきまして、検証を行っております。**デジタル教材の活用により、児童・生徒の理解力の向上と教員の負担軽減、この両面で効果がある**と考えています。今後、小・中学校へパソコンを1人1台無償配備するというような国の動向にも注視しつつ、その基盤となるICT機器の整備に引き続き取り組むとともに、御指摘のデジタル教材につきましても、どの教科、また、どの学年から取り入れていくことが効果的なのかといったような情報を収集し、検討を進めたい。

■要望:吉田健吾  
このICT化について、**ユニバーサル社会の推進というところもあわせて考えていただきたい**と思います。電子黒板で書いた文字が、例えば、弱視のお子さんが持っているタブレットに直接投影される。こういったこともできる状況は整っています。忘れず取り組んでいただきたい。よろしくお願いたします。

## 議会報告



## 令和元年第2回定例会 令和元年9月18日～10月29日(42日間) 平成30年度神戸市各会計決算が審議されました。

### 代表質問…山口由美議員(西区選出) 令和元年9月25日

■質問項目  
●今後の財政運営  
●人口減少対策  
●今後の医療・福祉施策のあり方  
●共生社会の実現

### 代表質問…五島大亮議員(北区選出) 令和元年9月25日

■質問項目  
●幼児教育・保育の無償化への対応  
●神戸市の都市計画  
●神戸市における動物愛護への取り組み  
●公会計情報を利用した戦略的な都市経営

### 代表質問…岡田ゆうじ議員(垂水区選出) 令和元年9月25日

■質問項目  
●市長の教育行政に関する政治責任のあり方  
●教育委員会のガバナンス  
●外郭団体の不祥事に関する市の責任

### 総括質疑…しらくに高太郎議員(垂水区選出) 令和元年10月11日

■質問項目  
●神戸2020ビジョンの目標達成に向けて  
●外郭団体のあり方  
●神戸のまちづくりのあり方  
●保育料無償化に伴う対応

### 一般質問…守屋隆司議員(兵庫区選出) 令和元年10月29日

■質問項目  
●就職氷河期世代に対する神戸市の支援取り組み  
●三宮クロススクエア交通社会実験  
●災害時の非常用電力の確保  
●自転車専用レーン整備

### 一般質問…上畠寛弘議員(東灘区選出) 令和元年10月29日

■質問項目  
●自衛隊との連携・協力  
●教育委員会の風土浄化  
●神戸市の福祉施策  
●神戸経済と観光振興について

# 神戸市政報告

編集・発行:自由民主党神戸市議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

自由民主党神戸市議員団  
神戸市議員  
灘区

# 吉田健吾



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部卒業(在学中は野球部で活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社ユーアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。●平成27年4月神戸市議員選挙初当選(2期目)  
●家族/妻・長男・次男●所属団体/都賀財産区管理会、都賀だんじり保存会、神戸楽生会、灘納税協会青年部会、神戸青年会議所

## 神戸市の決算 平成30年度

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計(基本的な事業)	7,685億円	7,594億円
特別会計(国保、介護保険、市住等)	6,573億円	6,536億円
企業会計(バス、上下水道等)	2,625億円	2,941億円

平成30年度の一般会計決算は、社会保障関係費が増加した一方で、所得の増加などにもなう個人市民税の増や「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みを進めたことなどから、黒字(20億4000万円)を確保することができました。

神戸市のお金の使い道(決算)をわかりやすく

## 一般会計の支出を 49.7万円にします。

福祉の充実に 約20.5万円	教育・文化の振興に 約8.7万円	環境・衛生の向上に 約3.7万円
産業の振興に 約0.9万円	住宅・まちづくりに 約1.6万円	道路・公園に 約2.4万円
消防・救急に 約1.3万円	会・区役所・市役所の 行政の運営などに 約4.6万円	市債の返済に 約6.0万円

### ごあいさつ MESSAGE

梅香る季節となりました。皆様には益々ご健勝のこととおよろこび申し上げます。また、平素よりご理解とご支援をたまわり心より御礼申し上げます。

さて、阪神・淡路大震災から25年が経ち、今まで進めることのできなかった阪神高速5号湾岸線の延伸工事や、神戸空港においては規制緩和による発着便数の増大など、未来に向けた取り組みがスタートはじめていっています。より良い神戸を未来に残せるよう、令和2年度予算を審議する2月議会においても熱心に議論をしてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年12月の令和元年度第2回定例会におきまして、一般質問を行いました。中面にその議事録(抜粋)を掲載しています。ぜひ、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

神戸市議員 吉田健吾

### 自民党会派管外視察 広島県/岡山東 2019年12月10～12日

広島県では、風光明媚な瀬戸内海を切り口にした「せとうちDMO」と、地権者や借地権者が約300人いた広島駅南口再開発Cブロックについて勉強しました。

岡山市では、災害ピクトグラムとその活用について視察しました。大規模な場所での避難に効果あり。加えて、土砂災害、風水害の実践訓練ができる施設もPRしていただきました。神戸にも必要です!



## 子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市議員 吉田健吾事務所  
〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 TEL078-861-5566 FAX078-861-3456 ●JR「摩耶駅」下車、北東へ徒歩約4分

灘区からGo!  
吉田健吾  
ホームページ  
yoshidakengo.jp





令和元年12月5日 議事録抜粋

# 令和元年第2回定例市会 本会議で一般質問を行いました

## 1.人口減少社会を見据えた政策について (1)グローバルイノベーションセンターについて

**■質問:吉田健吾**  
持続可能なまちとなるためには、今までの施策の延長線で人口減少に対応していくのではなく、技術革新、すなわちイノベーションが創出される仕組みづくりが不可欠です。こうした背景の中、**世界各国や国連機関の支援依頼**を受けて援助事業を展開する国連プロジェクトサービス機関であるユノップスとの間で、**SDGsの達成を目指すグローバルイノベーションセンター(GIC)を神戸市内に開設**すると合意に至ったことを評価しています。期待と想定される効果についてお伺いいたします。

**■答弁:久元市長**  
国内外よりSDGsに取り組むスタートアップを誘致し、世界の課題に取り組むネットワーク基盤が構築されるものと期待しています。また、神戸で生まれた新しいサービスが国連調達を通じ、グローバルでの利用につながり、**神戸が世界最先端の挑戦ができるまちになると期待**を寄せています。

**■質問:吉田健吾**  
本市においてもSDGsという観点を入れていただきたい。神戸にはたくさんの大学や専修学校、各種学校があり、課題解決を、このGICを通じて取り組んでいく助けをしていかないといけない。

**■答弁:久元市長**  
SDGsという考え方が広まる前から神戸市政はそういう考え方で市政を運営してきたと認識しておりました。それぞれの分野で神戸市が先導的な役割を果たすことができるような決意を持って仕事を進めていきたい。

※SDGs:Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称、2015年、国連で開かれたサミットで、世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。

## (2)スタートアップ育成支援の市民還元について

**■質問:吉田健吾**  
アーバンイノベーション神戸を初め、スタートアップの挑戦ができるまちとしての取り組みは、一定の効果が出てきていますが、**育成支援したスタートアップが持つ先進的なテクノロジー**を市民の

生活の質や利便性の向上につなげる施策として活用し、**市民へ還元していくことが重要です。**

**■答弁:久元市長**  
500Startupsにつきまして、今年度から医療産業都市と連携するという観点で、ヘルステックの分野に注力したプログラムへと刷新したところです。

もう1つは、アーバンイノベーション神戸の取り組みです。区役所での案内時間を半減させた行政窓口をスムーズに案内できるツールの実証開発。給与関係の届け出処理の自動化で、年間約**1,900時間の業務時間を削減**することができました。実際に行政課題の解決につながり、行政サービスの向上にもつながる成果が生まれています。

**■質問:吉田健吾**  
アーバンイノベーション神戸については、本家のサンフランシスコ市をしのぐ内容になってきていると聞いております。また、アーバンイノベーションジャパンと名を打って、神戸市のみならず近隣市の課題解決に向けての取り組みにも積極的に協力している。国内の先駆者として進めていただきたい。

先日、**スタートアップと共同開発したプロダクトを随意契約で調達する制度を導入**したと発表されました。透明性はしっかりと確保しつつ、この制度を積極的に活用して、よりスピード感を持って課題解決を進めるべきと考えます。

**■答弁:久元市長**  
従来の入札契約の考え方では、新たなアプリやシステムの開発を成功させたとしても、随意契約できる場合は極めて限られていました。しかし、地方自治法施行令の規定を活用し、起業家と自治体が共同開発したプロジェクトを随意契約できるという仕組みが考えられたわけです。この規定の存在を発見し、仕組みをつかった職員の着眼力、発想は称賛に値すると思います。

**透明性を確保することも大変重要です。外部有識者による審査会で審査～認定～契約に至ったとき、事業者及びプロダクトを市のホームページで公表する**などしたい。

## 2.六甲山・摩耶山の活性化について (1)六甲山上における都市型創造産業の集積について

**■質問:吉田健吾**  
六甲山の土地利用に関する規制緩和が行われ、保養所等の遊休施設を都市型創造産業の事務所として活用することが可能となりました。来年には、六甲山に光ケーブルが敷設されることとなり、山上の新たな利活用に向けた環境が整いつつあります。今後、デザイン業やIT関連産業などの都市型創造産業の事業者を誘致するためには、**六甲山がクリエイティブな活動に適しており、魅力的である**ことを積極的に国内外に発信するとともに、事業者に関心を持ってもらうための仕掛けづくりが必要と考えます。

**■答弁:久元市長**  
六甲山上のスマートシティ化に向けた取り組みを、Be Smart KOBEと題して公募しました。そして11月、ドローン配送システムの構築や山上施設における顔認証システムの導入事業などを採択しました。これらの事業が円滑に進むよう取り組んでいます。

六甲山をビジネスの場とする取り組みは、新たな技術の導入、規制緩和、通信インフラの整備の各方面で進みつつあります。今

後、この構想を具体的に実現していくために、**六甲山上スマートシティ構想、あるいはプランのようなものをつくり**、その内容を発信していくことが重要であると考えています。

## (2)摩耶山について

**■質問:吉田健吾**  
摩耶山には、今ある魅力のさらなる向上と新たな観光誘客の促進を両輪にして進めていく必要があります。そのためには、**摩耶山を支えてきた地元の声を聞きながら取り組んでいかなければならない**と考えます。また、夜間も含めた都心からのアクセス向上も山上全体の再整備と一体的に検討するべきと考えます。



**■答弁:岡口副市長**  
地元の方々の積極的な活動のもと、摩耶山の魅力が保たれてきたことは十分承知しています。再整備に当たり、こういった方々の意見を伺うことは大変重要なことと考えており、**地域活動の場であることも十分に考慮しながら検討を進めていきたい。**

昨年度より期間限定で、三宮、新神戸から山の麓まで急行バスを運行しています。利用がふえており、結果の検証を行った上で来年度の運行につなげたい。摩耶山の夜景につきましては、クールジャパンアワード2019に認定されており、運行事業者の考え方も聞きながら、夜間も含めた山上へのアクセス向上について、一体的に検討していきたい。

**■質問:吉田健吾**  
六甲山上スマートシティ構想や、スマートシティプランなど、わくわくするような内容だなと思っております。その第一歩も大切だと思います。空き保養所などの利活用になると期待していますが、まず1ついい事例をつくり、積極的に企業誘致のノウハウもこの分野に活用していただきたい。

**レジャーやオフィス活用で六甲山があつて、市民に親しまれる自然をしっかりと残した形で摩耶山**があるとゾーニングされていると思います。そういったところをしっかりと踏まえていただきたい。

**■答弁:岡口副市長**  
御指摘のとおりだと思います。しっかりと地元の皆さんと連携しながら進めたい。

## 3.乳がん検診とアピアランス支援

**■質問:吉田健吾**  
20代、30代の子育て世帯、また若い女性の健やかな暮らしを守るという観点から、例えば、年齢に関係なく結婚や出産を機に検診の対象に含めるなど、早期発見・早期治療のための**検診制度の拡充が若者に選ばれるまちを標榜する本市にとって重要**と考えます。国の方針だけで物事を考えるべきではないと思います。

**■答弁:寺崎副市長**  
若年者、特にお子様をお持ちのお母様方に対する乳がん検診のあり方については、自己触診によるがん早期発見の啓発、これをまずしっかりと努めてまいりたいと考えていますが、乳がん検診のあり方についても引き続き研究してまいりたいと思っております。

**■質問:吉田健吾**  
闘病生活をしていく中で、精神的な負担を少しでも軽減するために、他都市では医療用ウイッグや乳房補正具の費用助成を行っているところもあり、非常に評価されている。**本市においても、踏み込んだアピアランス支援を実施**するべきと考えます。

**■答弁:寺崎副市長**  
アピアランス支援など、がんに関する相談につきましては、主に、がん相談支援センターで実施しています。現在、神戸市内の美容組合の御協力を得ながら医療用やファッション用ウイッグの取り扱いの有無、持ち込みウイッグのカットの可否、個室対応の可否などのアンケート調査を実施しているところです。今年度中には、がん相談支援センターなどにおきまして**アピアランスケアに対応できる美容院の紹介、情報提供を行う予定**です。がん患者の皆様が求める支援を推進してまいりたい。

## 4.教育委員会のガバナンス強化

**■質問:吉田健吾**  
教員間のいじめ事案が発生した背景として、学校現場が閉鎖的な環境であったと指摘されています。また、小学校だけでも162校もあり、教育委員会事務局が各校の状況を現場で直接つかむことは現実的にできないと思います。**市内を地域ごとに担当する統括職員を配置し、教育委員会と学校現場との意識の乖離を防ぐことが重要**となると考えます。



**■答弁:長田教育長**  
組織風土改革のための有識者会議最終報告書におきましても、閉鎖的な環境であるということが指摘されています。そこで、事務局と学校現場とのつなぎ役を担う**エリアマネジャー的な統括職員の配置を検討**しています。事務局と学校現場が問題意識を共有し、意識の乖離が起こることのないよう取り組んでまいりたい。

**■質問:吉田健吾**  
ガバナンスについては、ほかにも構造的な問題があると考えています。学校現場では20代、30代の若手職員が増加する一方、指導的役割を担う45歳前後が最も少ない、いびつな年齢構成となっている。中堅職員による若手職員の指導・育成が難しくなる中、**若手職員に対する研修や指導体制を強化し、若手職員の方々のみずからの成長も促して**いかなければいけない。

**■答弁:長田教育長**  
若手教員に対する研修、指導につきまして、本市独自に初任者育成3年プランという計画を策定し、個別指導を行っている。現在、取り組みを進めている研修体系の再構築、この中で、若手教員に対する研修についても充実を図ってまいりたい。

これまでの人事異動方式を見直すわけですが、全市的観点に立って適材適所の人事異動を行っていく中で、この中核的な役割を担う主幹教諭について、役割や責任をより明確化し、適正配置を図ることによって、**若手教員を組織的に育成できる体制の構築を目指して**たい。

**■質問:吉田健吾**  
教員の年齢構成にしても、今までにない構成のパターンになっていると思います。子供を取り巻く環境も変わってきている。これまでの固定概念に縛られずに検討を進め、よりよい環境をつくっていただきたい。

▶オモテ面に続きます

自由民主党神戸市議員団

# 神戸市議員 灘区

# 吉田健吾

神戸市会

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

# ずっといっしょ。まっすぐ未来へ